



町民のみなさまへ

日ごろから、町民の皆さんには町政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

町では、第5次総合計画に定めた目指すまちの将来像「豊かな自然 あふれる笑顔 みんなで創る いきいき未来」の実現のため、毎年多くの事業に取り組んでいますが、今年もこれらの事業の実施結果を分かりやすくまとめた『まちづくり読本決算版』を作成しました。

平成25年度の主な事業を紹介しますと、環境への取り組みでは、燃やせるごみを中空知および北空知管内14市町で共同処理するごみ焼却施設「中・北空知エネクリーン」が本格稼働しましたので、本町においても「ごみ分別とごみ減量化の手引き」を新たに作成、全戸に配布し、ごみの減量や再資源化など省資源への取り組みを促進しました。

基幹産業である農業の振興では、国営事業で進められてきた徳富ダムが完成し、関連事業により基幹水利施設や排水機場が整備されました。また、ほ場の整備を継続的に実施し、生産性の向上、農作業の効率化および維持管理の軽減を図りました。

安全で安心なまちづくりでは、行政区や関係団体との連携により自主防災組織の設立を支援し、災害時の避難支援体制の強化に努めたほか、モデル地区を選定し高齢者などの見守り支援の体制づくりを進めました。また、市街地の街路灯と町内全域の防犯灯をLED化して、省エネで安全な明るいまちづくりを推進しました。

健康づくりでは、自分の健康状態を把握し生活習慣の改善や健康維持につなげていただくため、若年者の健康診断の無料化やがん検診などの助成を充実したほか、ウォーキング作戦の実施による年齢や体力に応じた運動の奨励やスポーツ活動の支援など、町民の健康づくりの推進に努めました。

このほかにも本冊子には、まちづくりの目標に基づいて実施した多くの事業や町の財政状況なども掲載しておりますので、ぜひご一読いただきたいと存じます。

今後も、町民の皆さんに町の情報を提供し共有しながら、力を合わせてまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成26年10月

新十津川町長 植田 満